

2024

2023

2022

2021

2020

2019

2018

2017

2016

2015

2014

AOYAMA VISION



Vision2014-2024

青山学院150年への挑戦

「これまで」と「これから」

Vision 2014-2024

すべての人と社会のために
未来を拓くサーバント・リーダーを育成する総合学園

青山学院はサーバント・リーダーを育むため、4Challengesの柱に沿って成長に応じた段階的な教育プログラムを実施しています。「ビジョン前半の5年間に実施した改革」と「長い間変わらず続けている取り組み」の一部を紹介します。

青山学院が育むサーバント・リーダーは、

リベラルアーツ・
深い専門知識

他者を敬い
違いを受け入れる心

人と社会に
仕える行い

Sincerity
Simplicity

を兼ね備えた人、すなわち「地の塩、世の光」を体現する人物です。

 世界と未来を拓く教育	 世界をリードする研究	4 Challenges	 世界が求める社会貢献	 世界に誇る知的インフラ
<p>■キリスト教信仰にもとづく教育 -各学校での日々の礼拝や聖書の授業を基盤に-</p>	<p>■グローバル教育改革</p>	<p>■ユニークな研究を生み出す 組織改革と環境づくり</p>	<p>■地域・社会連携 ボランティア活動</p>	<p>■学内連携の推進</p>
<p>■キリスト教理解関連科目 ■学生の諸活動(聖歌隊、ゴスペルクワイア等) ■宗教センター主催活動 ■コンテンポラリー礼拝(短大と合同開催)</p>  <p>クリスマス・ツリー点火祭</p>	<p>■協定校146校へ拡大 ■青山学院大学国際学生寮の開設 ■チャットルーム活性化 ■英語による授業拡充(PESE, Global Studies Program等) ■留学生奨学金の充実・ネイティブ助教導入</p>	<p>■多様な研究組織の構築</p> <p>■統合研究機構の設立 ■学部研究科附置研究所増設 ■各種センターを拠点とするユニークで学際的な研究</p>	<p>■各設置学校の取り組み</p> <p>■ボランティアセンターによる被災地/国際/地域支援活動 ■地方自治体との協定に基づく活動 ■青山スタンダード科目「サービス・ラーニングI・II」 ■種々の全学的センター設置 ■青山アカデミアの開設</p>	<p>■学内連携の推進</p> <p>〈大学⇄短大〉 ●短大教員が青山スタンダード科目を担当 ●大学の授業受講 ●学問入門講座 ●チャットルーム</p> <p>〈大学⇄高等部〉 ●大学留学生の都内アテンドツアー ●大学の授業受講 ●学問入門講座 ●チャットルーム</p> <p>〈短大⇄高等部〉 ●学問入門講座</p> <p>■新図書館建築基本設計の開始 ■ブックカフェ開設 ■海外オフィス設置(ロサンゼルス、シドニー、北京、台北、バンコク) ■青学TV開設</p> 
<p>■共通教育科目(キリスト教、キリスト教実践) ■学生の諸活動(オータム・リトリート等)</p>  <p>オータム・リトリート</p>	<p>■カリキュラムの推進・展開(オーストラリア幼児教育視察×語学研修ツアー、カンボジアサービスラーニングツアー、バングラデシュ・カンボジア・台湾スタディツアー) ■英語スピーチコンテスト</p>	<p>■総合文化研究所の研究プロジェクト ■ジェンダー研究センター(仮称)設立(準備) ■子ども研究会</p>  <p>リベラルアーツ講座</p>	<p>■Blue Birdの東日本大震災/熊本地震被災地支援 ■地域社会との連携(宮古市との協定締結、公開教養講座開講) ■生涯教育プログラムの実施</p>	<p>■魅力的な施設設備(図書館、ギャラリー、芸術系工房)</p> <p>〈大学⇄中等部〉 ●スタディールーム ●チャットルーム</p> <p>〈短大⇄高等部〉 ●学問入門講座</p> 
<p>■特別礼拝(伝道週間、シリーズ礼拝、音楽礼拝等) ■パイブルキャンプ ■特設クラブの活動(聖書交友会等)</p>  <p>パイブルキャンプ(ホワイトキャンプ)</p>	<p>■SGHプログラムの実施(グローバルウィーク、English Camp、大使館講座、IELTS講座等) ■海外プログラムの充実(短期交換留学、カナダホームステイプログラム等)</p>  <p>東ティモール大使館講演会</p>	<p>■ICT教育の推進 ■多様な進路に対応した3年生選択科目の充実 ■SGHの成果報告会の実施 ■平和共生論文の執筆</p>  <p>英語によるパネルディスカッション</p>	<p>■東ティモール研修 ■被災地(宮古等)学校との交流 ■知的障がい者支援施設への訪問・交流、横浜寿町炊き出し支援</p>	<p>■ICT教育の推進(タブレット端末貸出、電子黒板、全校WiFi完備、教員一人一台端末、生徒一人ひとりにGoogleアカウント) ■教育環境の充実</p> <p>〈高等部⇄初等部〉 ●英語クラスセッション ●一緒に遊ぼう会</p> <p>〈初等部⇄幼稚園〉 ●一緒に遊ぼう会</p> <p>〈校友⇄大学〉 ●校友による就職活動支援</p> 
<p>■新礼拝堂での毎日の全校礼拝 ■伝道週間 ■保護者聖書の会 ■特別礼拝(イースター礼拝、母の日・家族への感謝の礼拝、クリスマス礼拝等)</p>  <p>新礼拝堂</p>	<p>■オーストラリアホームステイ ■梨花女子大学付属中学と姉妹校締結</p>  <p>オーストラリアホームステイ</p>	<p>■教科センター型校舎を活用した教科教育 ■多彩な選択授業</p>  <p>選択授業</p>	<p>■学内外のキリスト教奉仕活動(養護老人ホームでの奉仕活動) ■震災被災者支援募金活動</p>	<p>■全教室電子黒板、全館WiFi完備の教科センター型校舎 ■知の中心メディアセンター</p> <p>〈校友⇄短大〉 ●各種講座の開催</p> <p>〈校友⇄高等部〉 ●卒業生講座(キャリア教育)</p> 
<p>■マタイ7:12をベースにした「5つのやくそく」を実践する教育 ■礼拝と祈りを生活の中心に据えた教育 ■保護者向けのキリスト教プログラムの実施</p>	<p>■多彩な交流プログラム(グローバルプログラム(インターナショナルスクールとの交流)、オーストラリアホームステイ、イングランドサマープログラム) ■SEED BOOKを使った4-4-4制に基づく英語教育</p>	<p>■専門教員による専門教科(理科、音楽、図工、体育、英語、宗教(キリスト教))の授業 ■調べ学習の充実</p>	<p>■フィリピンに住む子どもたちの支援 ■青山学院フィリピン訪問プログラムを通じたサーバント・リーダーの育成 ■日本キリスト教海外医療協力会を通じた支援 ■日本語学校への支援</p>	<p>■ICT教育の推進とOwn Device化</p> <p>〈校友⇄中等部〉 ●卒業生による講演会</p> <p>〈校友⇄初等部〉 ●ようこそ先輩(卒業生のお話)</p> <p>〈校友⇄幼稚園〉 ●伝統芸能・音楽・演劇・芸術等、校友によるプログラム</p>
<p>■礼拝を中心とした保育・生活すべての中で神様を感じ祈る保育</p>  <p>お祈りの様子</p>	<p>■海外からの研修生・見学者と園児との交流 ■異文化を背景に持つ保護者によるプログラム</p>	<p>■遊びを通して育む主体性、意欲、探究心、対話する力、協力する力等を養う環境の充実</p>  <p>砂場での遊びの様子</p>	<p>■チャイルド・ファンド・ジャパン、日本キリスト教海外医療協力会への積極的な関わり ■愛泉乳児園への支援活動 ■災害地域への献金活動</p>	<p>■園舎建築計画</p>

学院からのMessage

創立140周年を迎えた2014年、青山学院は150周年に向け更なる飛躍のための指針として「AOYAMA VISION」(2014-2024)を発表し、「サーバント・リーダー育成」という学院の使命を全うしていく姿勢とビジョンを具体化する諸施策を示しました。

3年後の2017年には、その諸施策をよりスピード感をもって確実に実行するため、またステークホルダーの方々に分かりやすく再提示するために、「AOYAMA VISIONパワーアップ宣言」を発表しました。同時に発表した「青山学院・新経営宣言」との両輪で、より良い教育・研究の実現と堅実な財政基盤の構築を推し進めています。

現代の日本は、グローバル化や少子化、超高齢社会、AI(人工知能)等の急速な技術革新など対応すべき課題が山積しています。将来の予測が困難な変化の激しい時代において、青山学院で学んだ卒業生たちがサーバント・リーダーとして、自分の使命を見出し、進んで人と社会とに仕え、新しい時代を創造していくことができるように、青山学院は教育や研究の改革に挑み続けなければなりません。改革には、「振り返り」と「改善」が不可欠です。本紙では、AOYAMA VISIONの5年間の実績を振り返るとともに、今後の5年間と更にその先を見据えた展望を示しています。更に「新経営宣言」のスローガン「Be the Difference(世界は一人ひとりの力で変えられる)」の求める改革を十分に理解し、各設置学校がありたい姿を明示しています。青山学院の「これまで」と「これから」の多様な取り組みを再確認するツールとして活用し、教職員一人ひとりが、携わる教育・研究や業務について今一度振り返り、「人と社会のために何ができるか」を再考する契機となることを期待しています。

AOYAMA VISION後半の5年間がスタートしました。創立150周年へ向けて、青山学院の挑戦は絶え間なく続きます。

青山学院 理事長
堀田 宣彌

青山学院 院長
山本 与志春

Mission

建学の精神

青山学院の教育は、
永久にキリスト教の信仰にもとづいて、
行われる。

教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

スクール・モットー

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
(聖書 マタイによる福音書 第5章13-16節より)

AOYAMA VISION

すべての人と社会のために
未来を拓くサーバント・リーダーを
育成する総合学園

新経営宣言

経営スローガン

Bethe Difference

“世界は一人ひとりの力で変えられる”

(2019年11月発行)

学校法人 青山学院

〈問合せ先〉総合企画部

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25 Tel.03-3409-6384

<http://www.aoyamagakuin.jp/>

